当面のコロナ禍とポストコロナを見据えて

～日野郡3町と鳥取県の新たな取組がスタート～

平井知事と3町長が『新型コロナを乗り越え地域社会を切り拓く連携に関する共同宣言』に署名しました。

これから急激に人口が減少していくことが推計されている日野郡の課題が、長引く新型コロナウイルス感染症の流行によって顕在化しています。

人口減少と、これから迎えるコロナ後の「新しい生活様式」「新しい経済様式」に対応していくためには、どのような取組が必要であるのか真剣に議論し、必要な施策を実行することが求められます。

そこで、日野郡の3町長と知事は、『鳥取県日野郡連携会議』を開催し、3町の住民の安全・安心な暮らしと物心両面にわたる幸福を実現するため、「医療連携」「ふるさと教育」「行政のデジタル化」の取組を3町と県が連携して進めていくことを共同で宣言しました。

日野振興センターでは各町役場と協力して、安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

1 医療連携の推進

まず、日野病院の孝田病院長から、小児科医の3町共同雇用、鳥取大学医学部地域医療学教室への支援を通じた常勤医（総合診療医）の確保、共同購入や医療事務の相互研修などによる経営改善、「日野郡の住民は日野郡の医療機関が診る」のポリシーで住民のかかりつけ医として選ばれる病院となる取組を進めたいと提案がありました。

続いて日南病院の佐藤病院長から、総合診療専門医の確保により、最小限の医師数で効率的な医療提供が可能になり、地域包括ケアシステムの構築にも有効であることが、また江尾診療所の武地所長からは、現在、江尾診療所と日野病院の連携により安全安心な医療体制がとれていることなどが報告されました。

町長や知事からは、郡内に小児科医や総合診療医がいることは重要で確保を進めるべき、地域医療構想に関する計画を策定し小児科や外科などの持続可能な診療体制を連携して整備するモデルを考えてはどうかなどの発言がありました。

2 ふるさと教育の推進

日野郡公設塾「まなびや縁側」の佐々木講師から、「まなびや縁側」の活動を通じて、地域の農家に招かれての視察や地域の人からの応援の言葉で生徒の活動意欲が高まり、生徒と地域に好循環が生まれていると報告がありました。

また、日野高校の内仲校長から、「地域みらい留学」のオンライン説明会や、地域連携による学びの成果を紹介したチラシの全戸配布、中学生へ配布など魅力発信の取組により、日野高校の令和3年度入学生が44名（前年27名）になったことが報告されました。

町長や知事から、探究心や自分で学ぶ力の定着への期待や、寮生を地域ぐるみで支え役割分担することで全国から慕われる高校、塾になると思うとの発言がありました。

3 行政のデジタル化に対応するための3町共同事業

国全体で進められるデジタル改革、行政のデジタル化は、新型コロナウイルス感染拡大に伴って必要となった変革の一つであることや、小規模な町では専任の職員を置くことが難しいため、広域連携や人材、業務の共通化、共同化に取り組むことが不可欠であることが、事務局から報告されました。

併せて、今後実行する共同事業として、町の主要メンバーの基礎知識蓄積、先行事例等の把握のほか、分野別スペシャリストを3町で分担して育成することや、推進メンバーの共同化、「専門知識を有する外部人材」の共同任用などの提案がありました。

町長や知事から、どういう形が作れるか勉強したい、先行する県の智恵を借りて日野郡も進めていきたい、使いこなしによって差が出るので人材育成や具体的なシステム開発で共同化など一緒に取り組みたいなどの発言がありました。

問日野振興局 地域振興課　電話：0859-72-2085　FAX：0859-72-2072

森づくりは人づくり　にちなん中国山地林業アカデミーの人材育成

桜咲く令和3年4月5日、林業アカデミー第3期生の入学式が行われ、定員10名を上回る林業専修科13名、林業研修科4名、計17名の研修生が林業への熱い想いを胸に新たな生活をスタートされました。研修生を支え、林業の担い手を育てるアカデミーの講師陣にお話を聞きました。

? 林業の魅力は？大変そうなイメージあるけど？

自然の中で働くことができ、**仕事の成果**も見え、**やりがい**と**充実感**がある仕事です。**大変だから、おもしろい！！**
以前より**機械化、安全性がアップ**しています。

? 林業で求められる人材とは？

やる気と**忍耐力**があること。これからは**IT技術**も必要です。

? 林業における指導ポイントは？

教えすぎないこと！
優先順位を付けて1つずつ順番に教えています。そして、最初にできない体験をすることが重要だと考え、安全面に気を付けながら**失敗から学んでもらう**ようにしています。

? 林業ならではの指導の難しさは？

林業は教科書の基本だけではできません。**経験から得るプラスアルファ**の部分が重要です。（木の重心を見極めて伐採する等）

講師の皆さま

【小菅良豪さん】
教育運営科長として研修全般を総括

【高木康平さん】
得意分野：ICT（ドローン等）を活用した森林管理

【須山里実さん】
得意分野：林業機械の操作指導

林業を目指す人達へ

現在、日本の67％は森林であり、その森林を約4万5千人の林業従事者が手入れしています。**森林を手入れすることで、水源かん養や土砂災害防止などの機能が発揮され、人々の生活を守ります。**

林業はこれからの成長産業です！！

問日野振興局 農林業振興課　電話：0859-72-2018　FAX：0859-72-2125

鳥獣被害対策　素手で触れないように！

日野郡鳥獣被害対策協議会 木下卓也

さて、この写真の動物は何でしょう？

正解は「タヌキ」です。え？本当に？と思われるかもしれませんが、本当です。より正確な答え方をするなら、「疥癬（かいせん）になったタヌキ」です。

「疥癬」というのは、皮膚内にヒゼンダニというダニが寄生する病気です。強いかゆみを伴い、症状が進行すると毛が抜け落ち、皮膚が固く肥厚してきます。動物の場合、毛が抜け落ちてしまうと体温調節が利かなくなり、体力が衰えます。そのため自力でエサを確保できなくなり、やせ細ります。そのため簡単にエサを手に入れることができる集落や畑など、人の生活エリアで目撃されることが増えます。

なんていう動物か分からないけど、痩せてて毛が無くてフラフラ歩いている動物がいたという場合は、たいていが疥癬に罹患した何らかの動物ということです。タヌキ以外にもアナグマやキツネ、イノシシなど多くの動物が罹患します。そして、動物だけではなく、人にも寄生するので疥癬に罹患した動物やその死体を発見した時は、素手で触れないようご注意ください。

問日野郡鳥獣被害対策協議会　電話：0859-72-1399